

取扱説明書

取付け前及びご使用前に必ずお読みください。
本書はお読みになった後も、本製品の側に置いてご活用ください。
ご使用中にわからないことや、不具合が生じた際に便利です。



Pursuing the Ultimate in Engine Performance and Efficiency.
HKS Company Limited.

E84511-K00180-00
2012年 4月25日発行
Ver.3-1.01

はじめに

この度はHKS OB-LINKをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
OB-LINKは、車両のOBD II カブラーに接続するだけで、車両情報（エンジン回転数・水温・油温・A/F補正值・A/F学習値・燃費等）とエンジンの故障状況をモニタリングし、その情報をBluetoothにて発信する装置です。

OB-LINKからの情報は、Android端末に専用のアプリケーションをインストールする事により表示することができます。

各アプリケーションのご使用方法は、アプリケーションのヘルプ等をご参照ください。

商品名	OB-LINK
用途	車両情報無線（Bluetooth）送信装置
コード No.	44009-AK001

- 本書は本製品を安全に使用していただき、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防止するために守っていただきたい注意事項を示しています。
- お客様、又は第三者が本製品及び付属品を誤使用したことにより受けた損害については、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品はノーマル車両及びHKS製品取付け車両を基準に開発されています。上記車両以外に取付けた場合は、本製品の機能・性能及び安全性について保証いたしかねます。
- 本製品は、DC12Vマイナスアース車に使用可能です。本製品の仕様は付属品を含め、改良の為に予告なく変更することがあります。
- 本書は予告なく改版することがありますので、あらかじめご了承ください。

目次

はじめに	1	異常・故障時の対応	4
目次	1	アフターサービスについて	4
安全上の注意	2	本製品の仕様	4
パーツリスト	2	改訂の記録	4
取付方法	3		
動作と取扱方法	4		

安全上の注意

本書では、下記のような記号を使用してお客様への危険レベルを示しています。本製品を正しくご使用、お取扱いいただくために下記の注意事項を必ず厳守してください。

警告 作業中又は使用者が死亡、又は重傷を負う可能性がある場合

注意 作業中又は使用者が傷害を負う危険が想定される場合（人損）拡大物損の発生が想定される場合（拡大物損とは、当該製造物が原因で誘発された物的損害【例えば、車両破損及び焼損】）

警告

- 本製品及び付属品が運転の妨げにならないよう取付けてください。運転操作ができなくなり、事故の原因となります。
- 本製品は、DC12Vマイナスアース車両専用です。24V車両には取付けしないでください。火災の原因となります。
- 使用中、本製品に異音・異臭等の異変があった場合には、本製品の使用を直ちに中止し、お買い上げの販売店にお問い合わせください。そのまま使用すると、感電や火災の原因となります。

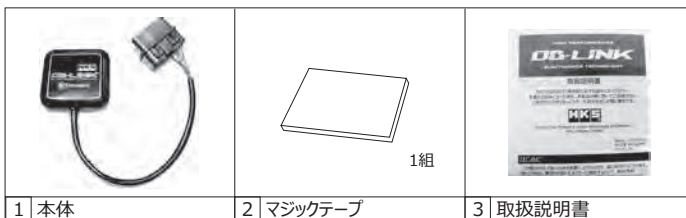
注意

- 本製品及び付属品の加工・分解・改造等の誤使用及び修理は絶対に行わないでください。感電及び車両の破損・焼損の恐れがあります。
- 精密電子機器の為、落下等の強いショックを与えないでください。作動不良を起こし、車両を破損する恐れがあります。
- オイル・水等の異物が混入しないようにしてください。作動不良を起こし、車両を破損する恐れがあります。
- 断線・ショート・誤配線の無いように取付けてください。感電及び車両の破損・焼損の恐れがあります。
- 車両及び本製品の本来の性能が損なわれている場合には、速やかに点検・整備を専門業者に依頼してください。

- 日常点検はドライバの責任です。必ず実施してください。

パーツリスト

本製品は、下記の部品で構成されています。
取付け前に異品・欠品のないことをご確認ください。



取付方法

1. OBD II カブラ位置の確認
取付けを行う車両の OBD II カブラの位置を確認します。詳細につきましては、HKS ホームページの下記アドレスよりご確認ください。

<http://www.hks-power.co.jp/product/electronics/monitor/ob-link/>



2. アプリケーションのインストール
 - ① OB-BRIDGE のインストール
OB-BRIDGE をダウンロードし、インストールしてください。
 - ② OB-LINK で使用するアプリケーション（Carscope）をインストールしてください。

①②ともに 1 のアドレスからダウンロードしてください。

3. Bluetooth設定（ペアリング）

- ① 使用する端末の Bluetooth を ON にしてください。
- ② ①で確認した OBD II カブラに、OB-LINK を接続します。
- ③ キースイッチを“ON”にするか、エンジンを始動させてください。
- ④ 使用する端末の新規デバイスの登録等から、ペアリングを行ってください。パスキーは「7181」です。
※ ペアリング方法につきましては、ご使用になる端末の取扱説明書をご参照ください。

4. アプリケーションの初期設定

アプリケーションのガイダンスに従って下記の設定を行ってください。

- ① “デバイス設定”と②”車両通信タイプ設定”を行います。
- ① “デバイス設定”は、デバイス選択ダイアログにペアリング済みデバイス一覧が表示されますので、その中から OB-LINK を選択してください。
- ② “車両通信タイプ”設定は、1 のアドレスより確認してください。
①と②の設定状態が正常に行われると、OB-LINK 本体の LED が下記のように点灯します。

赤 LED
点灯：デバイス設定 OK
点滅：デバイス設定 NG
(ペアリングの確認
デバイスの設定
を確認してください)



緑 LED
点灯：車両通信タイプ OK
点滅：車両通信タイプ NG

OBD II カブラに OB-LINK を差し込んだ状態で、“デバイス設定”と”車両通信タイプ設定”が正常に行われないうまま 2 分以上経過すると、OB-LINK の電源は OFF になります。
その後、再設定をする場合は、OBD II カブラから取外し、再继续後、①②を行ってください。

5. OB-LINKの固定

運転の妨げにならない箇所に、付属のマジックテープ等を使用し OB-LINK を固定します。

動作と取扱方法

- OB-LINKは、アプリケーションの起動とエンジン始動（エンジンコントロールユニット電源ON）を検出すると、電源が自動でONになります。
エンジン停止（エンジンコントロールユニット電源OFF）かアプリケーションの終了、Bluetooth切断のいずれかの状態を検出すると、電源が自動でOFFになります。
- エンジン系統の異常が検出されると、端末に故障コードが表示されます。その際は、HKSプロショップや専門業者にご相談ください。

⚠ 注意

- OB-LINKや配線に水がかからないようにしてください。
OB-LINKや配線に水がかかると、動作不良を起こし、車両やOB-LINKを破損する恐れがあります。
- 車両を長期間（2週間以上）使用しない場合は、OB-LINKを取外してください。
バッテリー上がりの要因となる可能性があります。
OB-LINKの待機電流は約1mAです。

異常・故障時の対応

⚠ 注意

- 使用中、本製品に異音・異臭等の異変があった場合には、本製品の使用を直ちに中止してください。
そのまま使用すると、感電や火災の原因となります。
- 故障等の修理は、お客様ご自身では絶対に対処せず、必ず専門業者に依頼してください。

故障の際は、保証書に必要事項等が記入・捺印されていることをご確認し、保証書に症状をご記入のうえ専門業者に修理を依頼してください。

アフターサービスについて

本製品に関するお問い合わせ、紛失部品等の購入は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

本製品の仕様

- 作動電圧…………… DC10～16V
- 動作可能温度…………… -20～75℃
- 最大消費電力…………… 1.12W

改訂の記録

Ver.	日付	記載変更内容
3-1.01	2012. 4	初版

保証について

本製品は「保証書」の内容に従って保証されています。
「保証書」をよくお読みになり、お買い上げ日・店名・住所が記入・捺印されていることをご確認のうえ、必要事項を記入し、大切に保管してください。記入もれがあると、保証期間中でも有償となります。

■ 販売店様へ

本製品は「保証書」の内容に従って保証されています。
「保証書」をよくお読みになり、販売店・貴店名・住所を 記入・捺印のうえ、お客様に渡してください。記入もれがあると、保証期間中でも有償となります。

保証期間経過後の修理、及びお客様の不注意により、修理が必要になった場合は、販売店にお問い合わせください。